



国際ゾンタ・女性の地位向上に向けての取り組み

国際ゾンタ 26 地区

国際ゾンタとは？

1919 年アメリカ合衆国ニューヨーク州バッファローで創設され、事業経営者や専門職の人々が奉仕と支持(Advocacy)を通して女性の地位向上のため協力しあう世界的団体である。

68 ヶ国、1215 クラブ、30,000 人の会員

ゾンタの語源は？

アメリカ原住民のスー族から来た言葉。正直、信頼できるという意味を持つ。スー族は誇り高い民族で、最後まで民族の誇りを守り、毅然とした姿勢で闘った。

国際ゾンタの活動

I、 開発途上国女性の自立支援 (国際ゾンタと国連との連携事業)

奉仕プログラム史

- ・ スリランカの井戸水プロジェクト(ユニセフ)
- ・ アルゼンチン女性健康プロモーター養成(ユニフェム)
- ・ メキシコ女性の生産性向上技術訓練(ユニフェム)
- ・ フィリピン女性のために根菜の生産、加工、販売プロジェクト(ユニフェム)
- ・ ブラジル女性の農業共同組合プロジェクト(ユニフェム)
- ・ セネガル農村女性の専門的技術援助プロジェクト(ユニフェム)
- ・ アフガニスタン女性の生活改善(ユニフェム)
- ・ ガーナ農村地帯母子の健康支援 (ユニセフ)
- ・ インドで養蚕に携わる女性のための総合開発プロジェクト(ユニフェム)
- ・ チリ、マプチェ農村女性の組織化プロジェクト(ユニフェム)
- ・ 南アフリカ女児教育プロジェクト(ユニセフ)

ゾンタと国連の関係

1946年に国連が創立されて以来、ゾンタは国連のすべての会議にオブザーバーを派遣しその活動を積極的に推進してきた。現在任命を受けてニューヨーク、パリ、ジュネーブ、ウィーンに会員を駐在させる。1970年代半ば、ゾンタの奉仕プロジェクトと国連の活動が密接に関連するようになった。

国際ゾンタは国連経済社会理事会(ECOSOC)の「総顧問」の資格を有する

ゾンタは ECOSOC の会議や様々な委員会(人権委員会、女性の地位委員会)に代表を送り組織の態度を表明し、議題の提案やゾンタの知識や専門的見解に基づいた提言を行ったりして貢献している。

このほかにゾンタが顧問の地位にあるもの

国連児童基金(UNICEF)

UN ウィメン

国連教育科学文化機(UNESCO)

国際労働機関(ILO)

ヨーロッパ会議

Ⅱ、能力ある優秀な女性に奨学金、賞金を出す。(クラブの事業)

① アメリア・イアハート奨学金

【設立】 1938年

【目的】 アメリカの女性パイロットでゾンタクラブ会員でもあった アメリア・イアハートの遺志を受け継ぎ設立された。アメリア・イアハートは女性に新しい職業を開拓し、従来よりも高い地位につくことによりその視野を広げるよう励ました。

【対象】 航空宇宙科学または工学関連の大学院博士課程に在学している女子学生。

【募集人数】 毎年全世界から 35 名

【奨金額】 一人当たり 1 回 US\$10,000

【受賞者】 世界 65 ヶ国 1,333 名

【支給総額】 US\$7,500,000 (2011 年現在)

【日本からの受賞者】

18 名

山崎直子さん(旧姓・角野)が東京大学大学院工学研究課修士課程、メリーランド大学留学中に受賞。

② ジェーン M/クローズマン奨学金

【概要】 1998 年から Jane M. Clausman Women in Business Scholarships (ジェーン・M・クローズマン ビジネス界の女性奨学金) として授与されています。ゾンタクラブ会員だった実業家ジェーン・M クローズマンの遺産 500,000 ドルを基にして設立。企業経営を志す女性に管理職の地位を奨励する奨学金。大学課程経営学の学位コースに在籍する女子学生を対象とする。

【目的】 企業経営の分野で女性経営者が増えることは、企業の決定に女性の影響力が強まることであり、それは国際ゾンタのミッションである女性の地位向上につながります。国際ゾンタは経営学とその関連領域を勉強している女性が、ビジネスの分野でキャリアを積み、指導的地位を目指すことを奨励しています。

【奨学金の種類】 毎年

地区賞: US\$1,000 地区から 1 名
国際賞: US\$5,000 地区賞受賞者の中から 12 名

【応募資格】

総合大学／単科大学／研究機関で、経営学またはその関連領域を学んでいる女性。インターネットを使った通信教育を受けている学生も可。

【受賞者】 これまでに 42 カ国 275 名の女性たちが JMK 奨学金を受けています。日本からは 2010 年度 1 名

③ 若い女性のための奨学金

【設立】 1990 年

【背景】 より多くの女性が意思決定の鍵を握る立場に立てるように、若い女性がキャリアを積み、あるいは政府やボランティア団体で政策や方針決定に関わる役職につき、その視点で目標に向かって素養を深めることを国際ゾンタは奨励しています。

【目的】 若い女性によるボランティア活動とその指導力、女性の地位向上への貢献を評価することで、より多くの若い女性たちが社会活動に参加することを目指します。

【対象】 以下の要件を満たし、地区に応募する時点で国際ゾンタの地区内に在住または通学する 16-19 歳の女性。

- ・ 積極的にボランティア活動をしている
- ・ ボランティアでリーダーシップを発揮している

- ・ 国際ゾントアのミッションである世界の女性の地位向上のアドボカシー活動をしている

【各賞と内容】 毎年

- ・ 地区賞：各地区から1名 賞状とUS\$1,000
- ・ 国際賞：地区賞受賞者の中から5名 賞状とUS\$3,000

【受賞者】 世界では50ヶ国 534名 日本からは5名

Ⅲ、女性と子供に対する暴力撲滅作戦を率先し、行動する。

ZISVAW (Zonta International Strategies to Prevent Violence Against Women)

＜女性に対する暴力を阻止するための国際ゾントアの戦略＞

ZISVAW は世界中の女性に対する暴力を阻止することに焦点を当てています。ZISVAW 基金は女性や少女たちの安全を脅かしている性差からくる暴力に対決するための活動資金を援助しています。国際ゾントアは性差による暴力を助長しているような一般社会や政府の考え方や態度を変えさせようとしている国連の諸機関、及び卓越した NGO に活動資金を援助しています。

日本ゾントア(26 地区)の活動

- ・ DV被害女性の自立支援
 - DVシェルターへの金銭的、物質的支援
 - DV についてワークショップや会議を開き啓蒙
- ・ 女性の健康
 - 子宮頸がん予防ワクチン啓蒙運動・公費助成請願の署名活動
 - ピンクリボンプロジェクト、メッセージウォーク
- ・ 女性の就労支援
 - マザーズジョブカフェ支援(パソコン・就職活動用スーツ・パンプスを寄贈)
 - 就労支援に向け国会議員との懇談
- ・ 理工系女子学生に奨学金贈呈
 - これまでは文系、理系に関係なく優秀な女子学生や留学生に贈呈していたが、女性研究者育成の支援、幅広い職業選択を奨励するため理工系に絞って贈呈

- 女性議員を増やす活動
各クラブから市議員・県議員を輩出(福島・郡山・松本・金沢など)
現職の女子議員を会員に勧誘する。(横浜・奈良万葉)
2011 全国フェミニスト議員連盟 in 夏合宿「増やそう女性議員・生きやすい社会を目指して」の
実行委員、コーディネーターとして参加

今後の活動計画

2012 年 3 月 8 日 「国際ソントローズデー」を全国一斉に全クラブで実施

2012 年 3 月 17 日 内閣府と共催でシンポジウム開催予定

テーマ 「未来を創る女性リーダーの活躍」

～ チャンス・チャレンジ・まず 2020 年 30%を目指す ～